

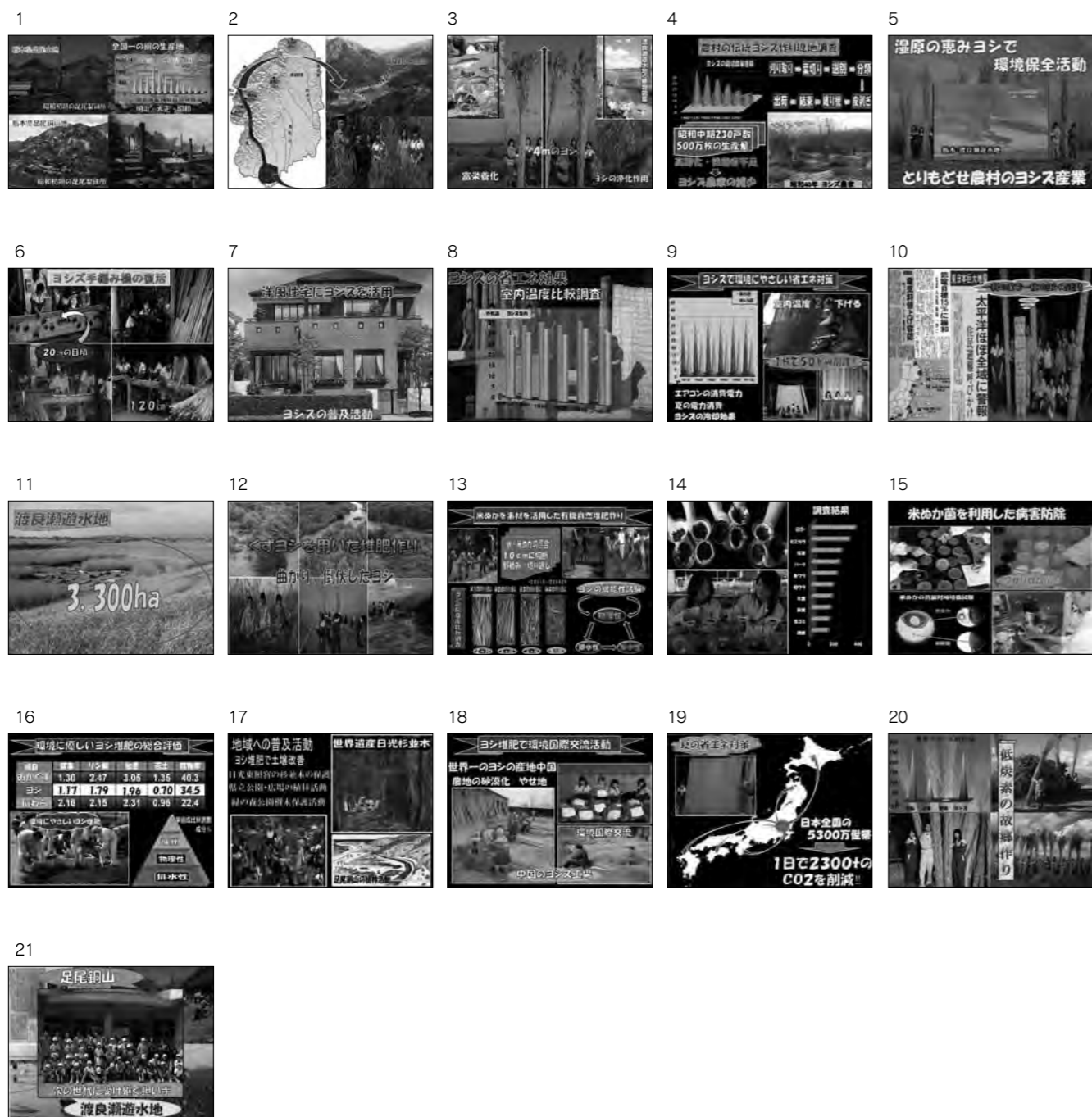
環境大臣賞 グランプリ

守れヨシの湿原、とりもどせ農村のヨシズ作り



〈学生活動部門〉
 栃木農業高等学校 地域おこしプロジェクト班〔栃木県〕
 〒 328-0054 栃木市平井町 911
 〈電話番号〉 0282-22-0326

農業高校生の視点から自然を見つめ、希少生物が生息する渡良瀬遊水地のヨシ原を守る活動を行いました。また、農村のヨシズ産業を復活させ、夏の省エネ対策に貢献することができました。さらに、くずヨシから「環境に優しいヨシ堆肥」を開発し、足尾銅山の植林活動を行うなど、ヨシを次世代に継承する活動を行っています。



環境大臣賞 金賞(地域活動部門)

菜の花で秋田を元気にしよう！(菜の花から始まる循環型社会)



〈地域活動部門〉
 NPO 法人あきた菜の花ネットワーク〔秋田県〕
 〒 010-1601 秋田市向浜 1-3-10 〈電話番号〉 018-862-6686
 〈ホームページ〉 <http://www.akita-nanohana.com/>

「菜の花には大きな可能性が秘められています！」耕作放棄地に菜の花を栽培し、菜の花を活用することで、環境保全と農業・農村の活性化を同時に実現できます。菜の花から始まる循環型社会づくりを目指し活動することで、地域住民や学校、他団体へと連携の輪が広がり、地域活性化や人々のつながりが強まっています。



環境大臣賞 金賞(学生活動部門)

新たな環境保全・循環型農業の模索

～地域に根ざしたリサイクルループの構築を目指して～



〈学生活動部門〉
神奈川県立相原高等学校畜産部〔神奈川県〕
〒252-0143 相模原市緑区橋本2-1-58
〈電話番号〉042-772-0256

神奈川県立相原高等学校は商業系3科と農業系3科を有する全国でも珍しい専門学校です。私たちは、主に家畜や農業について学べる畜産科学科に所属し、牛、豚、鶏を管理する畜産部にも所属し日々活動に励んでいます。また、畜産部では数年前から多くの企業と連携し、研究や商品開発を行っています。

Grid of 21 numbered presentation slides for the student activity department, covering topics like food waste, CO2 emissions, and local industry.

環境大臣賞 金賞(企業活動部門)

日本全国・地域まるごとCO2ゼロエミッションプロジェクト



〈企業活動部門〉
アイフルホームカンパニー〔東京都〕
〒136-0071 江東区亀戸1-5-7日鐵NDタワー 〈電話番号〉03-5626-8251
〈ホームページ〉http://www.eyefulhome.jp/

2008年からスタートしたアイフルホームのCO2ゼロエミッションプロジェクトは、地域密着・地場産業としての家づくりを見つめ、企業・お客様・地域住民など、延べ100万人で取り組む2015年までに低炭素社会構築を目指したプロジェクトです。

Grid of 21 numbered presentation slides for the corporate activity department, detailing CO2 reduction strategies and community engagement.

環境大臣賞 金賞 (ソーシャルビジネス部門)

シードバンクを活用した地球温暖化防止と生物多様性の復元



〈ソーシャルビジネス部門〉
有限会社仲田種苗園 (福島県)
 〒 963-7837 石川郡石川町大字中野字寺内 15-5
 〈電話番号〉 0247-26-7880 〈ホームページ〉 <http://www.eco-plants.net/>

環境省の「生物多様性保全のための国土区分」に従って、エリアごとのシードバンクを構築。その種子をもとに、独自の特許技術で植生マットを生産、大都市の屋上緑化に提供し、ヒートアイランド対策と生物多様性の復元に実績をあげています。

特別賞 東日本大震災被災地域貢献活動賞 (副賞: McDonald's 特別賞)
 東日本大震災における BDF 燃料による被災地緊急支援



〈地域活動部門〉
いわてバイオディーゼルネットワーク (岩手県)
 〒 020-0133 盛岡市青山4-9-1
 〈電話番号〉 019-647-6996

3月11日東日本大震災によって燃料調達ができなくなった中、地域のBDFネットワークでBDFを精製し、いわて生協のトラックを使って沿岸被災地へ緊急物資、食料、炊き出し等の緊急支援行動を行ったこと、及びその後の岩手県内におけるBDF使用拡大へ向けた取り組みを報告します。

特別賞 東日本大震災被災地域貢献活動賞 (副賞: McDonald's 特別賞)
木質バイオマス燃料の普及を軸にした復興支援活動

特別賞 東日本大震災被災地域貢献活動賞 (副賞: McDonald's 特別賞)
太陽光で園児及び地域社会と循環型社会構築—そして被災地支援へ



〈地域活動部門〉
NPO法人日本の森バイオマスネットワーク [宮城県]
〒 989-5625 栗原市志波姫堀口源光 11-1
〈電話番号〉 0228-22-6721 〈ホームページ〉 <http://jfbn.org/>

森林資源の活用を通じて持続可能な社会づくりに取り組む NPO 法人日本の森バイオマスネットワークでは、宮城県を中心に東日本大震災からの復興において木質バイオマス燃料の利用を普及することでエネルギーと雇用の自立した循環型の地域社会づくりを推進しています。



〈地域活動部門〉
NPO法人そらべあ基金 [東京都]
〒 101-0063 千代田区神田淡路町 1-9-7 岡本ビル 3F
〈電話番号〉 03-3251-5454 〈ホームページ〉 <http://www.solarbear.jp/>

太陽光発電設備を全国の幼稚園等に寄贈する取り組みとともに、「そらべあの涙を止めるためにすべきことは何か」と園児への問いかけをきっかけに、地域の環境への関心を高め、循環型社会構築を目指します。物資運搬しながら電気を発電・供給するソーラーパワートラックの特性を生かした、日本で唯一の斬新な被災地支援活動も実施。

協賛・協力企業賞 最優秀家庭エコ活動賞 (株式会社LIXILより授与)
既存住宅の窓の断熱リフォームによる「CO₂の削減」



〈企業活動部門〉
マテックス株式会社〔東京都〕
〒170-0012 豊島区上池袋2-14-11 〈電話番号〉03-3916-1256
〈ホームページ〉<http://www.matex-glass.co.jp/>
窓の卸売業を首都圏で展開。取り扱い商品の中心は、エコ配慮の様々な機能を備える「窓ガラス」「サッシ」。「窓を通じて社会に貢献する」という企業理念を掲げ、事業を通じて住宅の省エネやCO₂削減など環境保全に社員をはじめ、地域の取引先が一丸となって取り組んでいます。



協賛・協力企業賞 最優秀地域活性化賞 (一般財団法人セブン-イレブン記念財団より授与)
環境にぐうな取り組み、続けています～学生によるエコカフェ経営



〈学生活動部門〉
香川大学直島地域活性化プロジェクト〔香川県〕
〒760-8523 高松市幸町2-1 香川大学経済学部古川研究室
〈電話番号〉087-832-1895
瀬戸内海に浮かぶ直島において、学生が主体となり、カフェ経営を行っています。このカフェの運営を通じて、様々な環境対策に取り組んでいます。また、地元環境イベントにも積極的に参加することで、より地域に根ざした活動を展開しています。



協賛・協力企業賞 最優秀コミュニケーション賞 (株式会社オルタナより授与)
宗教活動から低炭素社会の構築を目指す

協賛・協力企業賞 最優秀コミュニケーション賞 (株式会社オルタナより授与)
ECOIS 先進的省エネネットワーク、解析、サポートシステム



〈地域活動部門〉
宗教法人長泉寺〔宮城県〕
〒 981-1505 角田市角田字長泉寺 69
〈電話番号〉 0224-62-1004 〈ホームページ〉 http://www1.odn.ne.jp/chosenji/
曹洞宗は教化の根本として、「人権の尊重」「平和の確立」「環境の保全」があります。長泉寺では「環境」について「いのちのものを大切に作る心」の観点から環境活動を出発し、場あたりのや思いつきの活動とならないように、ISO14001の認証を取得し、檀信徒や地域社会を含めた大きな環境活動の輪の構築を目指します。



〈ソーシャルビジネス部門〉
株式会社ピコエイド〔東京都〕
〒 102-0082 千代田区一番町9-8 ノザビルディング4F
〈電話番号〉 03-3453-4074 〈ホームページ〉 http://www.picoada.co.jp/
ホテル、商業施設、病院、老人ホーム、スポーツクラブ等「街」「生活」「企業活動」にフォーカスし、「東京大学」との共同研究により開発した先進的な「エネルギーネットワーク」「省エネ解析ツール」「省エネサポートツール」"ECOIS"をコアテクノロジーとして、独自の「省エネ水コミュニティ」を形成。



各賞受賞団体

地域活動部門

学生活動部門

企業活動部門

ソーシャルビジネス部門

各賞受賞団体

地域活動部門

学生活動部門

企業活動部門

ソーシャルビジネス部門

協賛・協力企業賞 最優秀コミュニケーション賞 (株式会社オルタナより授与)
低炭素社会に貢献する「環境配慮型社員寮」づくり

協賛・協力企業賞 最優秀地域エコ活動賞 (特定非営利活動法人気象キャスターネットワークより授与)
自然・人・物との関わりを生かした環境教育と実践活動



〈企業活動部門〉
株式会社大林組 名古屋支店〔愛知県〕
〒461-8506 名古屋市中区東横1-10-19
〈電話番号〉052-961-5154

大林組では、自社の社員寮(5階建て122室)の建替えにあたり、低炭素社会に貢献する「環境配慮型社員寮」を目指し、省エネ・省資源・二酸化炭素排出量削減の各種要素技術を盛り込んだ建物としました。寮生には、自然生態系保全の意識向上を促し、地域社会の環境保全にもつながることを目標としています。



〈学生活動部門〉
越谷市立大袋東小学校〔埼玉県〕
〒343-0032 越谷市袋山1750
〈電話番号〉048-975-4918

ピオトープであるならばやしを大切にすることから環境教育に取り組み始めたのが1995年。以来17年間にわたり、自分たちが自然や環境にできることは精いっぱい行い、保護者や地域、行政、NPO、企業の援助もいただき、実践の伴う環境教育を行ってきました。

Grid of 36 small images and text blocks (numbered 1-36) showcasing the 'Environment-friendly Employee Dormitory' project, including solar panel usage, energy savings, and community activities.

Grid of 36 small images and text blocks (numbered 1-36) showcasing the 'Natural, Human, and Object-based Environmental Education and Practical Activities' project, including school activities, energy audits, and community engagement.

各賞受賞団体

各賞受賞団体

地域活動部門

地域活動部門

学生活動部門

学生活動部門

企業活動部門

企業活動部門

ソーシャルビジネス部門

ソーシャルビジネス部門

協賛・協力企業賞 最優秀地域エコ活動賞 (特定非営利活動法人気象キャスターネットワークより授与)
「エコはえ〜こ (良い子) を育て、地域を育てる」

審査員特別賞 最優秀プレゼンテーション賞
竹から生まれた紙物語 ～地域資源で築く環境未来～



〈地域活動部門〉
社会福祉法人喜育園立山東保育園〔熊本県〕
〒 861-0123 熊本市植木町有泉829
〈電話番号〉 096-272-0673 〈ホームページ〉 <http://www.santo.ed.jp/index.html>

当園は、『エコは子どもの心身の発達に必要不可欠であり、親は子どもに育てられかつ地域に育てられる』との基本理念のもと、山東子育て応援団を結成、園内・保護者家庭・山東校区で、さらに旧植木町全域で様々な環境活動を実施し、その活動が地球温暖化防止に大きくつながっています。低炭素杯2012熊本県代表です。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12



〈企業活動部門〉
中越パルプ工業株式会社 川内工場〔鹿児島県〕
〒 895-8540 薩摩川内市宮内町1-26 〈電話番号〉 0996-22-2211
〈ホームページ〉 <http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>

中越パルプ工業株式会社川内工場は、鹿児島県で年間30万トンの紙を生産する工場です。特に地域資源である竹や間伐材を利用した紙の生産に力を入れており、日本で唯一「竹」を原料にした紙を生産している工場です。地域に根付いた紙作りを通して、社会環境貢献に寄与しています。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13

審査員特別賞 最優秀地域連携賞

牛久市周辺における BDF 製造を具体化の第1歩とする
循環型社会(低炭素社会)構築への実物大の社会モデル提示プロジェクト



〈地域活動部門〉
特定非営利活動法人アサザ基金〔茨城県〕
〒300-1233 牛久市栄町6-387 〈電話番号〉029-871-7166
〈ホームページ〉http://www.kasumigaura.net/asaza/

市民型公共事業、アサザプロジェクトは官も社会を動かすネットワークの一員として捉え、官、民が縦割りの壁を越えて自主的に協働し公益を実現します。本プロジェクトでは、地球温暖化対策を社会のあらゆる分野へと展開します。当会とまちづくり学習で協働実績のある牛久市が、「バイオスタウン構想」を打ち出し始めました。

Grid of 38 small presentation slides for the Asaza Foundation project, numbered 1 through 38.

審査員特別賞 最優秀イノベーション賞

グリーン・エコプロジェクト推進活動事業



〈地域活動部門〉
社団法人東京都トラック協会〔東京都〕
〒160-0004 新宿区四谷3-1-8
〈電話番号〉03-3359-3617 〈ホームページ〉http://www.totokyo.or.jp

東京都トラック協会が実施する『グリーン・エコプロジェクト』は、平成18年から、当協会独自のCO2等削減対策を盛り込んだ、トラック運送事業者が行う継続的なエコドライブ活動で、CO2排出量の削減、コスト削減、事故防止等に向けた取り組みを展開し、積極的なエコドライブ活動を実践できるよう支援を行っている。

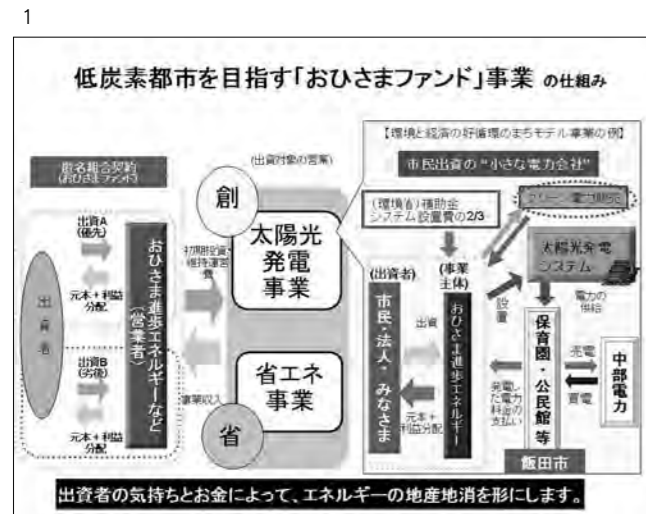
Grid of 12 large presentation slides for the Green Eco Project, numbered 1 through 12, including statistics and diagrams.

審査員特別賞 最優秀イノベーション賞
市民出資によるエネルギーの地産地消



〈ソーシャルビジネス部門〉
おひさま進歩エネルギー株式会社〔長野県〕
〒395-0044 飯田市本町2-15 〈電話番号〉0265-56-3711
〈ホームページ〉http://www.ohisama-energy.co.jp/

2004年から、長野県飯田市を中心とした南信州地域で自然エネルギーの利用普及、及び省エネルギーを推進する事業を、市民、行政、企業と連携して行なっています。



おひさまファンド事業の総括
(ファンドの一部は省エネ事業等にも投資しています)

ファンド名	募集期間	応募額	箇所数	設置容量	CO2削減
南信州 おひさまファンド	2005年2月～2005年5月	2億150万円	38	208 kW	108 t/年
温暖化防止 おひさまファンド	2007年11月～2008年12月	4億3430万円	92	773 kW	384 t/年
おひさまファンド	2009年6月～2009年9月	7,520万円	32	300 kW	156 t/年
〈低炭素まちづくりおひさまファンド〉	2009年11月～2010年1月	0万円	26	86 kW	45 t/年
信州・信いの国 おひさまファンド	2010年10月～2010年1月	4,790万円	22	73 kW	38 t/年
信州・信いの国 おひさまファンドⅡ	2011年10月～2012年1月	8,100万円	設置中	設置中	-
合計		8億3990万円	210箇所	1,367 kW	731 t/年



〈おひさまファンドの太陽光発電事業のポイント〉
飯田市との売買取断内容の特徴
前例にとらわれない行政の決断

- ☆ 20年の長期契約であること。
(行政財産の目的外使用についても20年の契約)
- ☆ 一定のkWh単価での買取契約であること。
- ☆ 20年の契約期間の間には、建て替え、移転等が考えられるが、基本的には「事業の趣旨」をくみとり、契約が継続できるように「配慮する」という規定などを盛り込む...

新しい公共の一例

審査員特別賞 ユニークプレゼンテーション賞
苔、及び苔シートによる緑化から繋がる地域活性化事業



〈企業活動部門〉
株式会社セタ〔新潟県〕
〒959-3264 岩船郡関川村大字上関359-1 〈電話番号〉0254-62-7811
〈ホームページ〉http://www5.hp-ez.com/hp/seta-coke/page1

今、当社では、苔による屋上緑化、壁面緑化の苔シートを製造、販売しています。苔が他の植物と違う点、苔は枯れてもCO2を取り込んだまま枯れ、他の植物は、枯れると同時にCO2を放出することや、苔は、フリーメンテナンスであることに着目し苔に精通したプロが取り組んでいる事業です。

株式会社 セタ
プレゼン開始

私どもセタでは、苔シート使って、温暖化 CO2 考えています。

6. 新潟では温暖化と同じ位休耕田、放棄地の問題があります。
7. 原料である苔を栽培してもらうことで農家の収入につながり土地の有効活用もできる。
8. 栽培することでCO2の削減に貢献している。
9. 今地元では関川村、胎内市で多くの農家の方に協力していただいています。
10. 他県でも協力して頂ける所も出来ました。

11. 一人でも多くの方、一つでも多くの企業にご協力をお願いします。
12. 温暖化・CO2で
13. 苔が闘う
14. 放棄地利用し
15. 休耕田使って

16. 苔を栽培して
17. 温暖化CO2削減は誰もがやらなくてはならないこと、地域がかかえる問題、休耕田、放棄地の有効活用、それが緑化からつながる地域活性化事業です。社員一同頑張っています。

※動画から掲載

ストップ、ザCO₂ 1000年のプロジェクトみんなの会

かわさき市民共同おひさまプロジェクト



〈地域活動部門〉
那須野ヶ原土地改良区連合〔栃木県〕
 〒 329-2807 那須塩原市接骨木447-8
 〈電話番号〉0287-36-0632 〈ホームページ〉http://www.nasu-lid.or.jp/
 那須野ヶ原土地改良区連合は、那須疏水の流れる4万haを対象とし、「食とエネルギーの地産地消」を目指して7基の小水力発電などの自然エネルギーや森林保全、木質バイオマスによる資源の活用、田んぼの学校などの地域活動などに取り組んでおり、多様な主体との連携により低炭素社会の構築を目指しています。



〈地域活動部門〉
かわさき市民共同おひさまプロジェクト〔神奈川県〕
 〒 212-0012 川崎市幸区中幸町3-26-24 1211 〈電話番号〉044-200-4109
 〈ホームページ〉http://homepage3.nifty.com/act-k/ohisamapj.html
 かわさき市民共同おひさまプロジェクトは、市民・事業者の寄付を集めて、再生可能エネルギー設備の設置活動を2006年より開始し、2008年には川崎市国際交流センターに太陽光発電設備を設置、2011年には川崎フロンターレクラブハウスに太陽熱温水器を設置、現在、3号機設置へ向けた検討を開始しています。

1 ストップ、ザCO₂1000年のプロジェクトみんなの会
 2 エアコンが普及する以前、涼は、水うらわ、打ち水、まじれにまじれ、風通しの前には夏風鈴を！
 3 プロジェクトCO₂削減量 9,172t/年
 4 地域ぐるみの啓発活動
 5 バイオラインの活用：那須野ヶ原発電所
 6 減勢工の活用：低落差発電システム
 7 CO₂削減量 460t/年
 8 既存水路を改修して活用：葛沼第一発電所
 9 CO₂削減量 1,380t/年
 10 CO₂削減量 2t/年
 11 CO₂削減量 1,250t/年
 12 CO₂削減量 5,138t/年
 13 CO₂固定便益 932t/年
 14 太陽光発電による年間CO₂削減量 10t/年
 15 CO₂換算で削減量 5,138t/年
 16

1 かわさき市民共同おひさまプロジェクト
 2 第1号機 川崎市国際交流センター
 3 見学会を開催
 4 第2号機 フロンターレ/クラブハウス
 5
 6 自然エネルギーと東日本大震災

各賞受賞団体

地域活動部門

学生活動部門

企業活動部門

ソーシャルビジネス部門

各賞受賞団体

地域活動部門

学生活動部門

企業活動部門

ソーシャルビジネス部門

森を守り森を育てる～現代版里山維持システムの構築に向けて～

バスを使ってエコに貢献 バスマップの配布によるバス利用の促進



〈地域活動部門〉
西山森林整備推進協議会〔京都府〕
 〒 617-8501 長岡京市開田1-1-1 〈電話番号〉 075-955-9542
 〈ホームページ〉 <http://www.nishiyama-shinrin.com/>

地域内外の多様な主体と連携で、森林整備活動を行う西山森林整備推進協議会では、森林総合研究所と連携し、萌芽更新を誘導するための管理伐採や植生調査と同時に、伐採木については薪ストーブ導入によりバイオマスエネルギーとして地域内で有効活用する「現代版里山維持システム構築のための実践的研究」を開始しました。

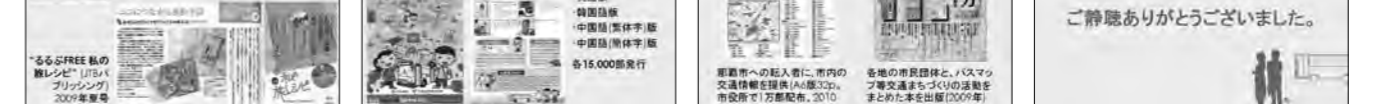
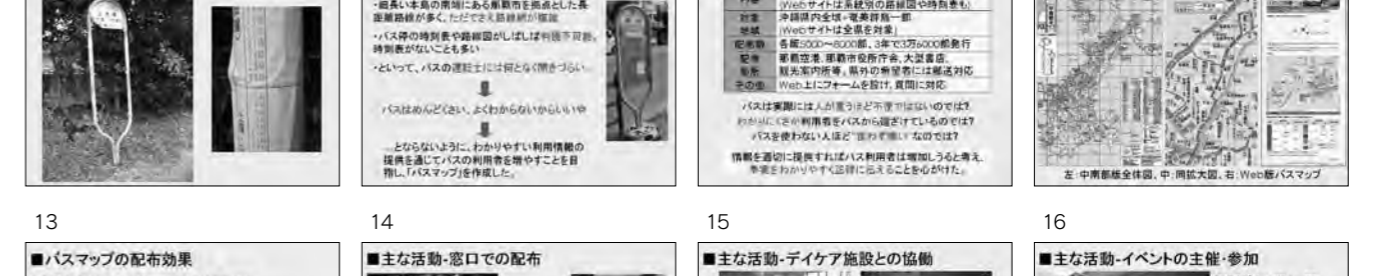
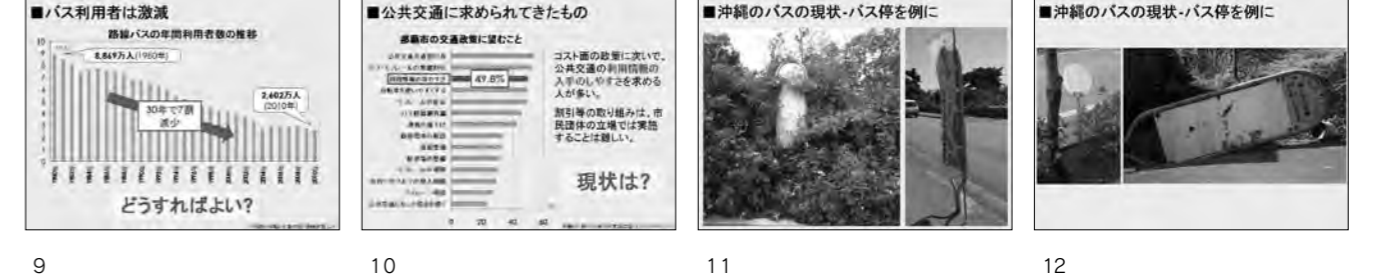
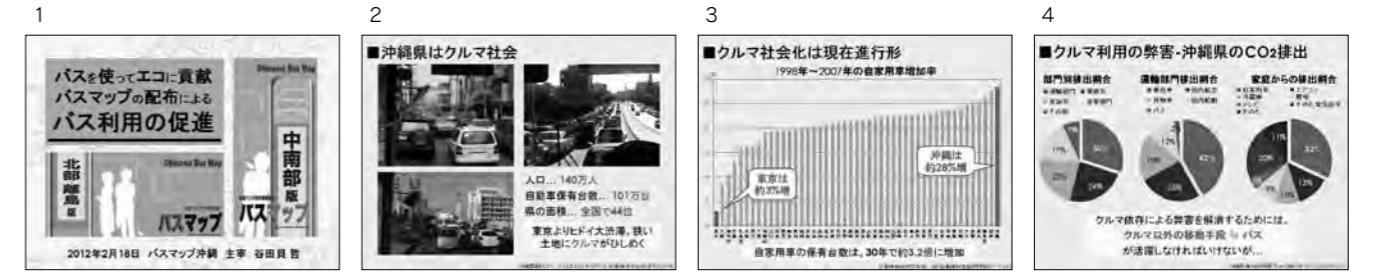


※動画から掲載



〈地域活動部門〉
バスマップ沖縄〔沖縄県〕
 〒 904-0033 沖縄市山里1-8-5-302
 〈電話番号〉 090-9155-9642 〈ホームページ〉 <http://www.kotsu-okinawa.org/>

「バスマップ沖縄」は、日本で唯一JRが走っておらず、過度のクルマ依存が日常生活の随所に弊害を及ぼしている沖縄県で、環境負荷の低い公共交通機関であるバスの利用促進に取り組んでいる市民団体です。2008年より、バス等公共交通の利用情報案内ツール「バスマップ沖縄」の作成・配布を続けています。



米エゼロエミッションプロジェクト



〈学生活動部門〉
山形県立米沢工業高等学校〔山形県〕
 〒 992-0017 米沢市大字川井300
 〈電話番号〉 0238-28-7056 〈ホームページ〉 <http://www.yonezawa-th.ed.jp/>

生徒の「電気自動車を作りたい」との発案をきっかけに、平成20年秋から電気自動車製作に着手、その後再生可能エネルギーを利用した発電と蓄電装置の製作、充電設備を備えた車庫も製作した。これはCO₂を放出しないシステムで、校内の技術力を総結集し地元企業の協力を受けて取り組んだものであります。

学内未利用資源の発掘プロジェクト



〈学生活動部門〉
(千葉県工業大学) CIT ものづくりプロジェクト〔千葉県〕
 〒 275-0021 習志野市芝園2-1-1
 〈電話番号〉 080-5533-5896

学生自らが、所属する大学内の廃棄物に目を向け、工学部の学生の特色を生かしてそのリサイクルに取り組み、その成果を広く地域社会全体で共有できるシステムを提案することで、新しい低炭素社会の実現を目指した活動を展開しています。学生が主体となる産官学連携による人材育成と社会貢献活動のモデルとなる活動であります。

ガソリン 1L で日本 1 周できる自動車の製作



〈学生活動部門〉
工学院大学附属中学・高等学校自動車部〔東京都〕
 〒 192-8622 八王子市中野町2647-2
 〈電話番号〉 042-622-9291 〈ホームページ〉 <http://www.js.kogakuin.ac.jp/>

モノづくりが大好きな中高生が集まって低燃費自動車を製作しています。ボディ、フレームなどを手作りしています。毎年、ガソリン 1L でどれだけ走れるかを競う「HONDA エコマイレージチャレンジ全国大会」に参加しています。2011 年 10 月に行われた第 31 回大会では 300km/L (自己最高) を記録しました。

1

東京都
 工学院大学 附属中学・高等学校
 自動車部

2

これまでの活動

- ・エコランカー・電気自動車の製作
- ・HONDAエコマイレージチャレンジで“300km/L”
- ・エコプロダクツなどの各種イベントに参加

2011年 高等学校 エコランカー

3

今年の予定・目標

- ・アルミフレームの製作
- ・FRPでカウリングを製作
- ・エコプロダクツなどの各種イベントに参加
- ◎エコマイレージチャレンジで

“500km/L”

4

夢(挑戦・創造・貢献)

- ・公道を安全に走るエコランカーを創る
- ・安価なエコカーを創る
- ◎排気ガスを限りなく減らす
- ◎楽しめる車を創る

☆日本一周

大学構内へのエコなシステムの導入、運営及び送り出し



〈学生活動部門〉
一橋大学環境サークル環兵衛〔東京都〕
 〈ホームページ〉 <http://www.hit-qanbei.info/>

環兵衛は、主に一橋大学構内を拠点に、地球環境改善に貢献できるシステムの企画立案、学内への導入、運営を行い、ひいては環兵衛の手を離れても持続的にシステムが動くよう、送り出しまでを視野に入れた活動を行っています。

1

2 『環兵衛』って？

地球環境改善に貢献できる(=エコな)プロジェクトを立案し、学内に導入する、という活動を行っている、「企画系」環境サークルです。

企画! 浸透! 導入! 自立化!

3 どんなプロジェクトなの？

- 以下の3つのコンセプトを持ったプロジェクトです。
- プロジェクトの利用者と地球の双方にWin-Winなものである。
- 環境に馴染みのない人でもプロジェクトに巻き込む。
- 最終的には環兵衛から自立して存続できる。

エコ弁
 古紙回収
 教科書古本
 環兵衛古本

4 始まったきっかけ

学期が終わると使わなくなる教科書
 古くなった図書館の本、山積みになった教授の本...

リユースしよう!

✓教科書古本市
 ✓環兵衛古本市

5 教科書古本市とは(1)

- 一橋大学内の、教科書を買いたい人と売りたい人をマッチングするシステム

教科書を譲りたい人 Win!
 教科書を手に入れたい人 Win!
 ⇒Win-Win-Winの実現!

6 教科書古本市とは(2)

教科書の情報 環兵衛メール | 環兵衛HP | 欲しい教科書 発見! | 環兵衛メール

7 環兵衛古本市のしくみ

古本市にて格安で販売!
 環境団体へ 送付し寄付

8 環兵衛古本市の特徴

Win-Win-Winなプロジェクトである

- 本の提供者にWin!
・蔵書の整理 ・ゴミの削減
- 本の購入者にWin!
・安い値段で求める本を
- 地球にWin!
・資源の有効利用 ・環境活動の促進

9 過去の実績

2006年～2011年

リユース冊数 25,851冊
 売上金額 456,857円

寄付先: WWFジャパン、くにたち桜守、北川カッパの会、自然アカデミー、宮城県復興支援

二酸化炭素削減量: 約13トン

10

おわり

ご清聴ありがとうございました。

三重大学環境 ISO 学生委員会による環境活動



〈学生活動部門〉
三重大学環境 ISO 学生委員会〔三重県〕
 〒 514-8507 津市栗真町屋町1577 〈電話番号〉 080-1563-6707
 〈ホームページ〉 <http://www.ceme.mie-u.ac.jp/student/>

「世界一の環境先進大学」を目指す三重大学と協働し、学内における省エネ活動や3R活動の推進、地域貢献活動、国際環境活動など様々な活動を行っています。そしてこれらの活動によって環境マインドが向上した学生達が、私生活や社会で環境問題に積極的に向き合うことで、低炭素社会への貢献も図っています。

小水力発電でものづくり力強化と地域連携を図る研究会活動



〈学生活動部門〉
阿南工業高等専門学校〔徳島県〕
 〒 774-0017 阿南市見能林町青木265 〈電話番号〉 0884-23-7157

本研究会は、阿南高専の環境マインドを持つ学生が小水力発電装置のアイデアから開発・設置を通して二酸化炭素の削減を目指すとともに、自治体との協働、住民との交流による地域貢献、企業技術者の顧問教員による環境技術、ものづくりの指導から、環境・エネルギー時代に対応した環境人材を目指す同好会です。

各賞受賞団体

地域活動部門

学生活動部門

企業活動部門

ソーシャルビジネス部門

各賞受賞団体

地域活動部門

学生活動部門

企業活動部門

ソーシャルビジネス部門

「バイオディーゼル燃料利用促進」による低炭素社会モデルの創出



〈企業活動部門〉
北海道コカ・コーラボトリング株式会社〔北海道〕
〒004-8588 札幌市清田区清田一条1-2-1
〈電話番号〉011-888-2135 〈ホームページ〉http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/

環境モデル都市：帯広市と協働で、2011年6月より回収された廃食用油を主原料としたバイオディーゼル燃料を製品配送車両へ導入する取り組みを開始。また、同月より市内スタンドにてバイオディーゼル燃料の一般販売が開始されたことから、車両の専用装飾を始めとした利用促進の啓発活動を広く展開。

12 numbered panels (1-12) detailing the project's goals, agreements, and promotional activities. Panel 1: Project overview. Panel 2: Agreement with Obihiro City. Panel 3: Project goals and topics. Panel 4: General dissemination of BDF. Panel 5: External information (vehicle graphics). Panel 6: External information (city hall ceremony). Panel 7: External information (media). Panel 8: External information (TV/radio). Panel 9: External information (advertising). Panel 10: Dissemination of BDF reliability. Panel 11: Reference to other projects. Panel 12: Future outlook.

社は「地球と暮らそう」をテーマとした健やかで持続可能な未来



〈企業活動部門〉
株式会社建築工房 零〔宮城県〕
〒981-3213 仙台市泉区南中山4-3-16 〈電話番号〉022-348-2925
〈ホームページ〉http://www.zerocraft.com/

私たちは、国産無垢材と伝統構法での家づくりと、積極的に自然エネルギーを取り入れる暮らしの提案を通して、住まう家族の健やかな暮らしと、真に豊かな社会づくりに取り組んでいます。

13 numbered panels (1-13) detailing the company's philosophy and sustainable practices. Panel 1: Zero logo. Panel 2: '地球と暮らそう' slogan. Panel 3: '健やかな暮らし創業者' slogan. Panel 4: '健やかな地球' slogan. Panel 5: '原子力発電 宣言' slogan. Panel 6: Photos of buildings. Panel 7: Photos of buildings. Panel 8: Photos of buildings. Panel 9: Photos of buildings. Panel 10: Photos of buildings. Panel 11: Photos of buildings. Panel 12: Photos of buildings. Panel 13: Thank you message.

各賞受賞団体

地域活動部門

学生活動部門

企業活動部門

ソーシャルビジネス部門

各賞受賞団体

地域活動部門

学生活動部門

企業活動部門

ソーシャルビジネス部門

エコ温泉のチャレンジ ～まんのう町をエコの町へ～



〈企業活動部門〉
ビレッジ美合館〔香川県〕
 〒766-0204 仲多度郡まんのう町勝浦1
 〈電話番号〉0877-84-2001 〈ホームページ〉http://www.miaikan.co.jp/

環境に優しい温泉旅館からエコの輪を広げるべく、様々な地球温暖化防止活動に取り組んでいます。地域の山林で発生した間伐材をそのまま利用できるボイラーを開発し、大幅な二酸化炭素の削減を実現できたことで、他地域からの関心も高く、まんのう町バイオマスタウン構想との連携を図っています。

1 エコ温泉のチャレンジ ～まんのう町をエコの町へ～

2 間伐材の有効利用

3 間伐材ボイラーの開発・導入

4 乾燥も自然エネルギーで

5 重油使用量の推移

6 燃焼効率を上げるために改良

7 間伐材使用量の推移

8 間伐材によるバイオエネルギー促進事業コンソーシアム

9 今年一年で総重量約30トンの間伐材ができました

10 コンソーシアムの効果

11 間伐材で楽しい思い出づくり

12 焼却灰は樹木の肥料として無料配布

13 廃食油を回収し、CO2削減

14 まんのう町バイオマスタウンの実現に向けて

小径間伐材の有効利用



〈ソーシャルビジネス部門〉
有限会社ナベ企画〔栃木県〕
 〒320-0836 宇都宮市大和3-4-2 〈電話番号〉0287-74-6263
 〈ホームページ〉http://www.woodbank-house.net/

京都議定書の発効により、日本政府は、CO₂削減量の約2/3を森林吸収で賄う事にしました。国際約束でCO₂の削減量にカウントできる森林は「森林経営が出来る森」です、そのため、現在、間伐材を利用しない「伐り捨て間伐」が大量に行われています。自社は、未利用間伐材のビジネス化を試みています。

1 小径間伐材の有効利用

2 森林の現状

3 間伐材の有効利用

4 間伐材の有効利用

5 間伐材の有効利用

6 小径間伐材の有効利用での効果

7 小径間伐材の有効利用での効果

8 小径間伐材の有効利用での効果

9 なぜ小径間伐材の有効利用が重要なのか？

10 小径間伐材の有効利用

11 2つの大量利用方法として

12 2つの大量利用方法として

13 コーヒー缶スワックル

14 ウッドパレットハウス

15

16 間伐材がこれこそできるCO₂削減効果

17 ウッドパレットハウス

18 間伐材の有効利用

19 2つの大量利用方法として

20 間伐材の有効利用

21

22

23

24

25

各賞受賞団体

地域活動部門

学生活動部門

企業活動部門

ソーシャルビジネス部門

各賞受賞団体

地域活動部門

学生活動部門

企業活動部門

ソーシャルビジネス部門

ゆかいな野菜物語



〈ソーシャルビジネス部門〉
株式会社大地を守る会〔千葉県〕

〒261-8554 千葉県美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンD棟21階
〈電話番号〉043-213-5603 〈ホームページ〉http://www.daichi.or.jp/

大地を守る会が運営する有機野菜宅配の会員より回収した廃食油をディーゼル燃料化し、それを生産者がトラクターなどの燃料として利用し栽培した野菜を「ゆかいな野菜物語」として販売します。「ゆ」は油、「かい」は回を表します。CO2やりサイクル問題を解決する、生活に根づいた循環型代替エネルギープロジェクトです。

1



2



3



4



5

- このプロジェクトの意義
- 廃食油は資源であることの認知促進+油を捨てないというリサイクル促進(ゴミ削減)
一般家庭から出される廃食油20万トン/年
 - 廃食油を資源として活用することによるCO2削減
ゴミとして燃やさずに、燃料として活用できる
 - 代替エネルギー提案
太陽光発電等をもたなくても誰でも発電できる
 - 環境保全
VDFは大気汚染の原因となる硫黄酸化物ゼロ

6



7

- 効果(3ヶ月)
- 廃食油参加者 : 1930名(のべ)
 - 廃食油回収量 : 2430リットル
 - VDF化 : 2308リットル
 - 商品購入者 : 411口
 - CO2削減量 : 4.5トン
-

8

- 各者反応
- 消費者(アンケートより)
・廃食油回収再帰希望は90%
・環境によいから、油を捨てないですむから
 - 生産者
・エネルギーとしてもパワーは問題ない
・てんばらの香りがしてよい
・排気がクリーンなので、ハウス向き
・価格が高いのがネック
 - マスメディア
6/20読売新聞、9/26読売新聞、12/22日経新聞等